

# 逢坂



人・自然と豊かに関わる子どもの育成

よく考える子ども

思いやりのある子ども

たくましい子ども

めざす学校像；笑顔あふれる学校

## 4年ぶりの全校運動会

10月14日(土)、4年ぶりに全校で運動会を開催しました。ご来賓や多くの保護者の方にご来校いただき、誠にありがとうございました。皆様の応援を受けて、子どもたちは全力を出し切ろうとがんばることができました。



### 11月の行事予定

※予定変更がある場合は学年通信でお知らせします。

1	水	登校指導 打出ブロック挨拶運動	20	月	委員会活動
3	金	文化の日	21	火	5年生フローティングスクール(A組)
6	月	4,5,6年生6校時日課	22	水	5年生フローティングスクール(A組)
8	水	2年生校外学習	23	木	勤労感謝の日
9	木	6年生修学旅行	24	金	5年生フローティングスクール(B,C組)
10	金	6年生修学旅行	25	土	5年生フローティングスクール(B,C組)
12	日	逢坂こどもまつり	27	月	教育相談日 4,5,6年生5校時日課
13	月	クラブ活動 5・5交流 教育相談日			5年生B,C組振替休日
14	火	ブックママ・パパ 1年生校外学習	28	火	学校運営協議会
15	水	登校指導 道徳参観	29	水	下校指導
17	金	食育の日 4年生音楽鑑賞(校内)	30	木	4年生校外学習



○6年生の修学旅行は11月9日(木)信楽・滋賀県平和祈念館、10日(金)ナガシマスパーランドへ1泊2日、貸切バスで行きます。最高の思い出づくりになれば、と願っています。

運動会等の学校行事は、行事自体が目的ではなく、子どもたちがそれらを通してどんな力を身につけるかが大切だと考えています。以下は6年生の振り返り作文からの抜粋です。子どもたちの成長を、とても嬉しく感じました。 ※児童名は掲載しません。

- 協力する力などが運動会で育っていると思うので、とうぜん社会で生き抜くにはいろんな力が必要で、その力を育てるいい機会だと思った。多分、その力はいろんなところで使えると思う。何回も運動会に向けてがんばってきたので、少しずつがんばる力や、本番のプレッシャーにたえる力など、1回の運動会で様々なことを覚えたと思う。
- 相手に合わせる力がついたかもしれないです。ピラミッドで◇組とやることになって別のチームだけど協力してできました。相手にいらんこと言いそうになったけどがまんしました。相手と協力ができるようになりました。
- しっかり細かい所まで意識したり細かい所ができなかった時に、次はここもできるようにしよう！と思ったり、細かい所にこだわったりする力。小学校最後の運動会で優勝はできなかったけれど、みんな全力で応援や走ったりしていて、やっぱり本番だと気合いが出るなあと思いました。
- 人を想う力。ピラミッドの時に足に砂が当たって痛くて足を浮かせると、自分は痛くなくても他の人は痛いし、自分がちゃんとしないと結局練習時間がかかってしまうから自分も休まずにやろうと思った。これが人を想う力だと思った。それと、努力する力。バトンパスの練習は昔の自分はやらなかったと思うけど、「勝ちたい！」と思ったから練習した。みんなが練習した結果、本番でははじめにしたリレーと比べて16秒も縮まった。これもみんなが努力したからだと思う。
- 最初から「できる！」と思う力です。なぜかというと、最初は倒立ができないと思っていたけど、やっているうちにできるようになったから、やればできると思う力、最初から「できる」と思う力が身についたと思います。
- 1つめは協調する力です。私は、今までは少しがんだった気がします。組体の振り付けを考えると話し合いやバトンパス練習で、他の人の意見を取り入れることにより、人に合わせることの大切さがわかりました。2つめはがまんする力です。私はがまん強い方ではなく、すぐ別のことに気が移ってしまう人間でした。しかし組体でえんぎするときに他の人ができるまで待つことでがまんすることの大切さを覚えました。3つめは人の意見を取り入れて自分の考えを混ぜ込む力です。この3つのことを私は運動会から学ぶことができました。
- やるべきことは最後までやるという力がつきました。運動会の練習で最初はちょっと楽しみにしていましたが、ひざ立ちが痛くてやる気がうせました。でも、やるべきことは最後までやるという気持ちがあっても運動会まであきらめませんでした。そして先生がいていた三つのあい、「相・愛・合」を使ってがんばりました。
- できないことでもあきらめずに挑戦する力と、友達と協力する力です。リレーは最初、3位だったので昼休みにバトンパスの練習をしました。前日の練習では1位になれました。本番は負けましたが、あきらめずに挑戦する力がついたと思います。補助倒立では、「後ろに倒れたらどうしよう」などと考えてしまい、ぜんぜん足が上がりませんでした。でも、足を支えてくれる人を信用すると足が上がり、その後の練習では必ずできるようになりました。生きていく中で、一人でやっつけてしまおうとするのではなく協力してもらったり、逆に困っている人がいたら協力したりしようと思います。運動会で身につけた力は運動会までで終わらせてしまわないように、生活をしていきたいと思います。